

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 令和元年 6月21日

仕事の内容	訪問入浴サービス事業			
担当部署・課長名	障害福祉課	障害福祉係	係	課長名 小川 則之

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 3	-
【施策名】 障害者福祉の推進		総合計画書 (ページ)	55	

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉	目 4	障害者福祉費	事業 7	地域生活支援事業
-----	-----	-----	-----	------	-----	--------	------	----------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ①身体障害者手帳2級以上の者 ②愛の手帳2度以上の者 ③前2号のほか、市長が必要であると認める者	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①身体障害者手帳所持者(1~2級) 手帳所持者のうち特に重度の者を対象指標とする。 ②愛の手帳所持者(1~2度) 手帳所持者のうち特に重度の者を対象指標とする。
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・入浴の困難な在宅の障害者の入浴の機会を保障して、地域で安心して生活を送ることができるようにする。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 利用者数/重度障害者数
		③ そのために何をしましたか。 ・入浴の困難な在宅の障害者に対し、週1回入浴巡回車を派遣し、組立式浴槽による入浴介助を行う。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 利用者数 18人

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	1,549	1,583	1,564	/	/
		成果指標	②の数値	%	1.2	1.2	1.2	/	/
		目 標	②の目標値		/	/	/	/	/
		目標値設定の考え方							
	活動指標	③の数値	人	19	18	18	/	/	

3	経費	事業費(実績)		円	6,723,270	6,016,500	5,855,512	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財源	一般財源		円	3,376,270	3,270,500		3,020,512
			特定財源		円	3,347,000	2,746,000		2,835,000
		(うち受益者負担)		円					
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.05	0.05		0.05
			所要人数(再任用)		人				
		職員人件費(再任用以外)		円	413,350	412,650	412,200		
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	7,136,620	6,429,150	6,267,712				

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		・昭和59年4月、在宅の重度心身障害者の生活支援の施策として実施。東京都の福祉改革推進事業補助の選択事業に位置付け。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ・平成18年に障害者自立支援法が施行され、市町村事業である地域生活支援事業に位置づけられた。原則、国1/2、都1/4の補助。 ・26市中24市で実施。

仕 事 の 内 容	訪問入浴サービス事業			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉係	係 課長名 小川 則之

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は微増傾向。在宅の最重度障害者の生活支援の重要な施策のひとつである。 ・介護保険制度でも同様のサービス（介護保険の対象者は介護サービスに移行する。）があり、利用者は事業所との契約により一部負担をして利用している。

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点	

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域生活支援事業（移動支援、日常生活用具等）と同様に市でサービス基準額を定め、利用者が市に登録した事業者と契約をしてサービスを受ける（介護サービスと同様）制度に改める。その際、利用者負担についても検討する。 		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	①サービス提供事業者の充足状況の確認と登録事業者の確保 ②適正なサービス基準額の設定 ③利用者負担の導入については、現在の利用者への影響を考慮する。		
	(3)改革・改善案による期待成果		
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。